

安全データシート (S D S)

1. 化学物質及び会社情報

製品名	コマコート E C O
製品の種類／用途	生分解性コンクリート剥離剤
会社名	株式会社 コマロック
住所	〒 891-0132 鹿児島市七ツ島 1 丁目 9 2 番地
電話番号	099-262-5069 F A X 番号 099-261-5610
作成	2025 年 4 月 1 日
改訂	2021 年 12 月 1 日

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

引火性液体	: 区分外 (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
急性毒性 (経口)	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
急性毒性 (経皮)	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
急性毒性 (吸入 - ミスト)	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
皮膚腐食／刺激性	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
呼吸器感作性	: 区分 1 (シンボル: 感嘆符、注意喚起語: 警告)
皮膚感作性	: 区分 1 (シンボル: 感嘆符、注意喚起語: 警告)
生殖細胞変異原性	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
発がん性	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
生殖毒性	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
特定標的臓器／全身毒性 (反復暴露)	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
吸引性呼吸器有害性:	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
水生環境有害性 (急性)	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)
水生環境有害性 (慢性)	: 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし)

G H S ラベル要素

シンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を引き起こすおそれ
皮膚接触により感作を引き起こすおそれ

注意書き :

「予防策」

- ・すべての安全注意（SDS等）を読み理解できるまで取り扱わないこと。
- ・個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。
- ・屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。
- ・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後は手を良く洗うこと。

「対応」

- ・吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。
- ・皮膚を速やかに洗浄すること。水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激や発疹がおきた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを装着していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合や気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。吐かせないこと。医師の診断、手当てを受けること。気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。
- ・暴露した時、又は気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断、手当てを受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・取り扱った後、手を洗うこと。

「保管」

- ・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
- ・容器を密閉し、保管場所に施錠すること。

「廃棄」

- ・内容物や容器を、都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: 植物油 添加剤
成分及び含有率	: 脂肪酸エステル 95%以上 樹脂酸 5%未満
化学特性（化学式）	: 特定できない
官報公示整理番号 （化審法・安衛法）	: 企業秘密なので記載できない

安全データシート

株式会社 コマロック

C A S No.	: 企業秘密なので記載できない
危険有害成分	
化学物質管理促進法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当

4. 応急処置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚（または髪）に付着した場合	: 速やかに洗浄すること。水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合や気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	: 清浄な水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを装着していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け、医師の診断、手当てを受けること。 この製品が目に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆な目の損傷を生ずる恐れがある。
飲み込んだ場合	: 口の中が汚染されている場合は、水で十分すすぐこと。無理に吐かせないで、医師の診断、手当てを受けること。
応急措置をする者の保護	: 現在のところ有用な情報なし
医師に対する特別注意事項	: 現在のところ有用な情報なし

5. 火災時の措置

消火剤	: 1. 霧状の強化液、粉末、炭酸ガス、泡が有効である。 2. 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器を用いる。 3. 大規模火災の際には、泡消火器を用いて空気を遮断することが有効である。
使ってはならない消火剤	: ・ 棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
火災時の特定危険有害度	: 1. 加熱により容器が爆発する恐れがある。 2. 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生する恐れがある。
特定の消化方法	: 1. 火元への燃焼源を断つ。周囲の設備などに散水して冷却する。 2. 危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 3. 火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。
消火を行う者の保護	: ・ 燃焼ガスには、一酸化炭素の他、窒素酸化物系ガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際は風上から行い、適切な空気呼吸器、消火用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 作業の際には、必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 1. 下水道・河川等に排出されないように注意する。

安全データシート

株式会社 コマロック

回収、中和、並びに封じ込め及び浄化の方法・機材

2. 海上の場合、薬剤を用いる場合には運輸省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。
- : 1. 全ての着火源を速やかに取り除き、漏洩箇所の漏れを止める。
2. 危険地域より人を退避させる。危険地域の周辺には、ロープを張り、人の立入りを禁止する。
3. 少量の場合には、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。
4. 大量の場合には、盛り土で囲って流出を止めた後、液面を泡で覆い容器等に回収する。
5. 室内で漏出した場合は、窓・ドアを開け十分に換気を行う。
6. 海上の場合、オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸収マット等で吸い取る。薬剤を用いる場合には運輸省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。

二次災害の防止策

- : 1. 漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。
2. 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
3. 下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

- : 1. 取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
2. 容器から取り出す時は、ポンプなどを使用すること。細管を用いて口で吸い上げるようなこと（サイホン）はしない。飲まない。
3. 容器は必ず密閉する。

注意事項

- : 1. 皮膚に触れたり、眼に入る可能性のある場合は保護具を着用する。
2. ミストが発生する場合は、呼吸器具等を使用してミストを吸入しない。
3. 火気厳禁

安全取扱注意事項

- : 作業場の換気を十分行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

保管条件

- : 1. 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
2. 容器を密閉し、保管場所に施錠すること。火気厳禁。

適切な技術的対策

- : 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。

容器包装機材

- : 1. 空容器に圧力をかけない。圧力をかけると破裂することがある。
2. 容器は、溶接、加熱、穴あけまたは切断しない。爆発を伴って残留物が発火することがある。

3. 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 通気の良くない屋内作業所の場合には、全体換気装置を設ける。 できるだけ密閉された装置、機器、局所排気装置を使用する。 取扱い場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
管理濃度	: 規定なし
許容濃度	: 1. 日本産業衛生学会（2007年度版）：規定なし 2. ACGIH（2008年度版）：規定なし
保護具	
呼吸器用の保護具	: ミスト、蒸気が発生する場合は防毒マスク（有機ガス用）を使用する。
手の保護具	: 長期間または繰り返し接触する場合は耐油性のものを使用する。
眼の保護具	: 飛沫が飛ぶ場合には保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長期間にわたり取り扱う場合または油で汚れる場合には、耐油性の長袖保護衣を着用する。油で汚れた衣類は完全に洗浄して使用する。
適切な衛生対策	: 作業中は飲食、喫煙はしない。 飲食、喫煙前には石鹸で手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状	: 液体
色	: 2. 0 (ASTM K-2580)
臭い	: 特異臭
pH	: 該当しない
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 200℃以上 (COC K-2265)
爆発範囲	: 下限 データなし、上限 データなし
蒸気圧	: データなし
比重（密度）	: 0.87 g/cm ³ (15℃ K-2249)
溶解度	: 水に不溶
動粘度	: 7.0 (40℃ CSt K-2283)

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件では安定
危険有害反応可能性	: 自己反応性なし
避けるべき条件	: 高温の物体、火花、裸火、静電気火花
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 熱分解や不完全燃焼により、黒煙と一酸化炭素を含む有害な

ガスが発生する事がある。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: L D 50=>2000mg/Kg(ラット)
急性毒性（経皮）	: L D 50=>2000mg/Kg(ラット)
急性毒性（吸入；蒸気）	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: Draize 法（ウサギ 4 時間接触）；P.I.I=0.8
眼に対する重篤な損傷性 ／刺激性	: 目を刺激することがある。物理的に眼球を傷つける可能性。
呼吸器感作性	: 区分 1（シンボル：感嘆符、注意喚起語：警告）
皮膚感作性	: 区分 1（シンボル：感嘆符、注意喚起語：警告）
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	: データなし
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: データなし

12. 環境影響情報

生体毒性	: データなし
生分解性	: 99.2%（OECD-301C）
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし

13. 廃棄上の注意

1. 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。投棄禁止
 2. 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに司法自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 3. 燃焼する場合は、安全な場所で少量ずつ、かつ、燃焼又は爆発によって他に危害又は損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、見張り人をつける。
-

14. 輸送上の注意

国内規制 下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

陸上 : 消防法、道路法等に定められている運送方法に従う。

安全データシート

株式会社 コマロック

海上	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空	: 航空法に定められている運送方法に従う。
国際規制	
国連分類	: 国連の分類基準に該当せず
国連番号	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
応急措置指針番号	: 該当しない

15. 適用法令

消防法	: 危険物第4類動植物油類
労働安全衛生法	
特化則	: 該当しない
有機則	: 該当しない
第57条表示対象物質	: 該当しない
第57条通知対象物質	: 通知対象基準以下
海洋汚染防止法	: 該当しない
化学物質管理促進法	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない

16. その他の情報

引用文献

1. 化学物質等安全データシート（SDS）——第1部：内容及び項目の順序
(JIS Z 7250:2005)
 2. 製品安全データシートの作成指針（改訂2版）GHS対応ガイドライン（暫定版）
(社)日本化学工業協会 平成18年5月
 3. GHS対応による混合物（化学物質）のSDS作成手法の研修テキスト（改訂版）
中央労働災害防止協会
 4. GHS分類結果データベース 独立行政法人 製品評価技術基盤機構ホームページ
 5. 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース(株)
(社)日本化学工業協会 監修2006年
 6. 緊急時応急措置指針（改訂第2版）
(社)日本化学工業協会
 7. Bozo Research Center Inc. 2008
-

お願い

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者はこれを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講じることが必要であることを理解した上で、使用されるようお願いいたします。
したがって、本データシートそのものは、安全を保証するものではありません。
